

徳 島 県

埋蔵文化財センター年報

Vol. 23 2011年度

2 0 1 3

公益財団法人 徳島県埋蔵文化財センター



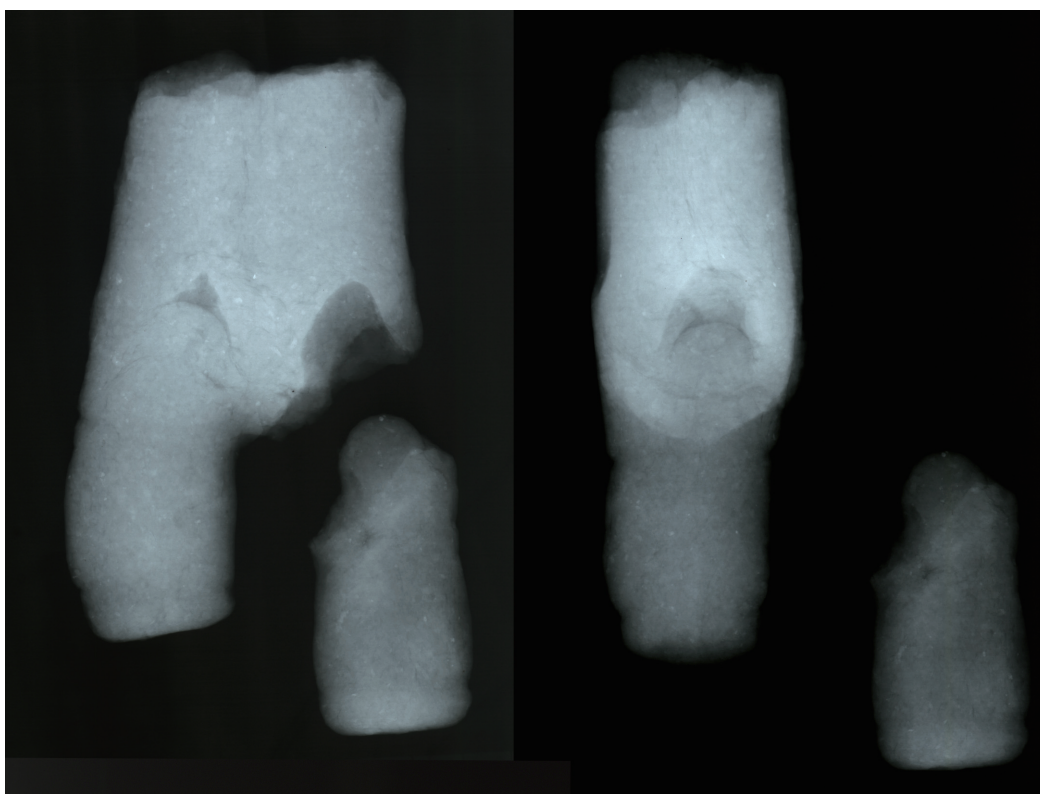
犬山天神山古墳 7号石棺 (ST1007) 頭部



犬山天神山古墳 1号墳 (SM1001) 全景



清成遺跡第1遺構面完掘状況（西より）



新居見遺跡出土土偶 X線写真（平成22年度調査時出土）

はじめに

本書は、平成 23 年度に公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターが実施した事業の概要をまとめたものです。

平成 23 年度に実施した事業は発掘調査・出土資料整理・普及事業などで、いずれも徳島県から委託を受けたものです。

まず、発掘調査は 5 事業 7 遺跡の調査を実施しました。徳島市八万町犬山天神山古墳においては、結晶片岩を箱形に組み合わせた石棺が発見されました。石棺は大正年間に学界で「阿波式石棺」として論争された形態のもので、遺構や埋葬人骨が良好に残っていたため、現地での説明会を 2 度開催し多くの見学者が訪れました。

次に、出土資料整理事業においては、県立中央病院改築事業に関わる南蔵本遺跡の整理を実施し、次年度以降の報告書発刊に向け、遺物や図面の整理や分析を行いました。

普及事業では、速報展「発掘とくしま 2011」とその関連行事を実施したほか、教員の新任研修や職場体験など、当センターの特色を活かした各種の研修を受け入れました。

また、県立埋蔵文化財総合センターの指定管理者として 6 年目を迎え、施設を適正に管理しました。自主事業として「毎日できる古代体験」などの各種の体験メニューのほか、企画展や連続講座を企画・実施するとともに、新たな試みとしてセンターを拠点とするボランティアの育成事業を開始しました。幅広い利用者に活動の場を提供できるよう内容面でもさらに充実を図っております。

今後とも、公益法人として県民のみなさまの期待に添うよう努力して参りますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 25 年 1 月

公益財団法人 徳島県埋蔵文化財センター
理事長 佐野 義行

目 次

I	公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの概要	4
II	平成 23 年度事業概要	6
III	調査事業報告	10
	発掘調査業務一覧	11
	県事業関連	
	加茂野遺跡	12
	国事業関連	
	清成遺跡	13
	新居見遺跡	14
	犬山天神山古墳	15
	田浦遺跡	16
	黒谷川郡頭遺跡	17
IV	整理事業報告	18
V	普及事業報告	19
	1 管理運営業務	19
	2 徳島県立埋蔵文化財総合センター（対象施設）の管理運営業務	19
	3 普及事業の共催	21
	4 その他の普及事業	23

例 言

- 1 本書は公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの平成 23 年度事業をまとめた年報である。
- 2 III 調査事業報告に関する地形図は国土地理院発行 1 / 50,000 地形図を転載したものであり、各図に図幅名を記した。
- 3 III 調査事業報告・IV 整理事業報告・V 普及事業報告の概要は各担当が執筆し、その責を文末に記した。

平成 23 年度 公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの組織

平成 23 年 6 月 8 日現在

1 評議員・役員

評 議 員	天羽 利夫 村澤 普惠 木原 克司 仁義 知得 伊丹 康裕	学識経験者 学識経験者 学識経験者 学識経験者 学識経験者
理 事 長	福家 清司	県教育委員会教育長
副 理 事 長	板東 武	学識経験者
専 務 理 事	平尾 恭二	
常 務 理 事	菅原 康夫	県教育委員会局付
理 事	真鍋 俊照	四国大学教授，大日寺住職
	佐々木清克	徳島文理大学准教授
	両角 芳郎	学識経験者
	吉田 一紀	専門学校穴吹デザインビューティカレッジ校長
	竹原 紀幸	学識経験者
	湯浅 利彦	県教育委員会教育文化政策課長
監 事	原 孝仁 小林 功	公認会計士 県教育委員会生涯学習政策課長

2 職 員

所 長 (専務理事)	平尾 恭二
事務局 長 (常務理事)	菅原 康夫

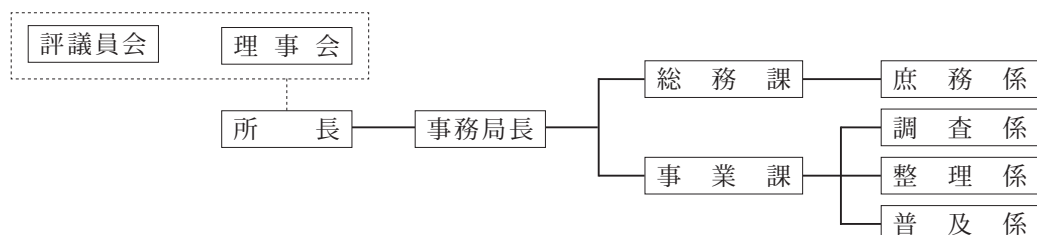
◇総 務 課

課 長	漆川 明彦
庶 務 係 主 任	大橋 育順
経 理 嘱 託 員	圓藤早知子
	大浦 理枝
	池田 幸子

◇事 業 課

課 長	藤川 智之
調 査 係 研 究 主 査	久保脇美朗
専 門 研 究 員	氏家 敏之
	原 芳伸
	栗林 誠治
	田川 憲
主 任 研 究 員	大北 和美
	島田 豊彰
研 究 補 助 員	佐藤 俊祐
整 理 係 専 門 研 究 員	近藤 玲
普 及 係 主 査 兼 専 門 研 究 員	山本 正弘
主 任 研 究 員	植地 岳彦
受 付 案 内 嘱 託 員	種ヶ嶋絵里
臨 時 補 助 員	

3 組 織 図



I 公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの概要

平成 23 年 4 月 1 日現在

1 設立の目的

徳島県内における埋蔵文化財（出土した文化財を含む。）の調査・研究に関する事業を行い，文化財保護意識の啓発普及を図り，もって地域文化の振興に寄与することを目的とする。

2 設立年月日

平成元年 4 月 1 日（平成 22 年 4 月 1 日公益財団法人移行）

3 事業内容

- (1) 埋蔵文化財の発掘調査及び研究を行う事業
- (2) 出土した文化財の整理及び保存を行う事業
- (3) 埋蔵文化財の活用及び保護意識の啓発普及に関する事業
- (4) 徳島県立埋蔵文化財総合センターの管理運営に関する事業
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4 資産及び会計

- (1) 資産構成 財団設立当初の財産，寄附金品，事業収入，資産収入，その他収入
- (2) 資産種別 基本財産，運用財産
- (3) 事業年度 毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで
- (4) 基本財産 10,000,000 円
- (5) 決算額 402,160,600 円（平成 23 年度事業収入）

5 評議員

- (1) 評議員 5 名（定数 3 名以上 5 名以内）
- (2) 任期 4 年
- (3) 評議員会
 - ① 権限 ア 評議員，理事及び監事の選任及び解任
イ 貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれら附属明細書の承認
ウ 定款の変更等
 - ② 開催 定時評議員会（年 1 回開催），臨時評議員会

6 役員

- (1) 理事 10 名（定数 3 名以上 10 名以内）

理事のうち 1 名を理事長，1 名を副理事長，1 名を専務理事，1 名を常務理事とする。
- (2) 監事 2 名（定数 2 名以内）
- (3) 任期 2 年
- (4) 理事会 2 年
 - ① 権限 ア 法人の業務執行の決定
イ 理事の職務の執行の監督
ウ 理事長，副理事長，専務理事及び常務理事の選定及び解職
 - ② 開催 通常理事会（年 2 回開催），臨時理事会

7 主たる事務所

(1) 徳島県立埋蔵文化財総合センター内

- ①所在地 徳島県板野郡板野町犬伏字平山 86 番 2
- ②敷地面積 16,093㎡
- ③建物 鉄筋コンクリート造 2 階建（一部鉄骨造）2,554.05㎡
事務室, 研究員室, 展示室, 図書資料室, 情報処理室, 分析室, 機材保管室, 整理復元室,
写真撮影室, 木器, 鉄器処理室等

8 事務局職員

(1) 常勤職員 24 名

内訳 派遣職員 3 名, 財団職員 12 名, 嘱託職員 3 名, 研究補助員 1 名, 臨時補助員 5 名

(2) 非常勤職員 10 名

内訳 調査補助員 10 名

Ⅱ 平成 23 年度事業概要

1 評議員会・理事会の開催状況について

(1) 第 6 回通常理事会

開催日	平成 23 年 5 月 20 日（金）
議案	平成 22 年度事業報告について 平成 22 年度事業収支決算について 理事及び監事の選任について

(2) 第 3 回定時評議員会

開催日	平成 23 年 6 月 8 日（水）
議案	平成 22 年度事業報告について 平成 22 年度事業収支決算について 理事及び監事の選任について

(3) 第 7 回通常理事会

開催日	平成 24 年 3 月 27 日（火）
議案	平成 23 年度事業計画の変更について 平成 23 年度事業収支予算の補正について 平成 24 年度事業計画について 平成 24 年度事業収支予算について 職員給与規則の一部改正について 理事会運営規則の制定について

2 事業の実施状況について

(1) 埋蔵文化財発掘調査業務

徳島県から委託を受けて、5 事業 6 遺跡、のべ面積 28,284㎡の発掘調査を実施した。

- ①四国横断自動車道（阿南～徳島東）（新居見地区）関連埋蔵文化財発掘調査
小松島市新居見町 新居見遺跡 調査面積 5,966㎡（のべ 6,700㎡）
- ②四国横断自動車道（阿南～徳島東）（田浦地区）関連埋蔵文化財発掘調査
小松島市田浦町 田浦遺跡 調査面積 2,727㎡
- ③一般国道 192 号徳島南環状道路（大野地区）関連埋蔵文化財発掘調査
徳島市八万町 犬山天神山古墳 調査面積 800㎡
- ④徳島県立農林水産総合技術支援センター整備運営事業関連埋蔵文化財発掘調査
名西郡石井町 清成遺跡 調査面積 3,650㎡（のべ 8,850㎡）
- ⑤平成 23 年度吉野川下流域農地防災事業（大寺工区）関連埋蔵文化財発掘調査
板野郡板野町 黒谷川郡頭遺跡 調査面積 882㎡（のべ 1,134㎡）
- ⑥飯尾川河川改修工事関連埋蔵文化財発掘調査
名西郡石井町 加茂野遺跡 調査面積 2,800㎡（のべ 6,480㎡）

(2) 埋蔵文化財出土品整理業務

徳島県から委託を受けて、次の1事業1遺跡の整理業務を実施した。

平成23年度県立中央病院改築事業関連埋蔵文化財整理業務

徳島市南蔵本町の南蔵本遺跡からの出土遺物コンテナ140箱の整理

(3) 緊急雇用創出事業

「県立埋蔵文化財総合センター資料活用事業」を実施した。

徳島県立埋蔵文化財総合センターが所蔵する遺跡の記録資料（写真フィルム・図面）のデジタル化と公開

(4) 遺物保存処理等業務

埋蔵文化財保護の拠点である県立埋蔵文化財総合センターにおいて、県内の埋蔵文化財の保存・活用がなお一層図られることを目的とし、収蔵庫内の資料整理、検索システムの構築、遺物保存処理等の業務を実施した。

受贈図書数 1,640冊

(5) 「阿波の古^{いにしえ}再発見 史跡・埋蔵文化財総合活用事業」の実施

発掘とくしまの開催

埋蔵文化財発掘調査の成果を広く還元するために、速報展及び関連行事を実施した。

(6) 徳島県立埋蔵文化財総合センターの管理運営業務

県教育委員会から指定された同センターの指定管理者として、適切な管理運営業務を行った。

①対象施設の利用状況 年間来所者数 8,067名

②自主事業の実施状況

ア 埋蔵文化財企画展・イベントなどの実施 4回

イ 毎日古代体験の参加者 1,362名

ウ 徳島県立埋蔵文化財総合センター公式ホームページの管理
カウント数 19,972回

エ アワコウコ学サポーター養成講座応用課程の実施

(7) 普及事業の共催

①アワコウコ楽総合講座

ア 考古学講座の開催 5回

②「阿波の古（いにしえ）再発見 埋蔵文化財総合活用事業」の実施

ア 埋蔵文化財速報展「発掘とくしま」の開催

(8) その他の普及事業

①埋文WEBの管理運営

②埋蔵文化財センター年報の刊行

③各種研修の受け入れ

ア 教職員初任者研修会

イ 職場体験学習

ウ 中学生インターンシップ

エ 高校生インターンシップ

④ 職員の対外活動	19回(のべ19人)
⑤ 発掘現場における普及事業	3回
⑥ 考古資料の活用	
ア 資料の特別利用(借用・掲載・転載・撮影・実見等)	49件(対象資料 2,494点)
⑦ 教材等の貸出	
ア 移動教材セット等の貸出状況	8回(参加者 927名)
イ 出張授業・体験等の実施	
授業・火おこし・勾玉づくり	29回(参加者 943名)

3 平成 23 年度収支決算

公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの平成 23 年度の収支決算等は次のとおりである。

(1) 収入の部

(単位：円)

科 目	平成 22 年度	平成 23 年度	比較増△減額	備 考
1 基本財産運用収入	120,000	66,124	△ 53,876	
2 事業収入	379,320,800	402,160,600	22,839,800	
3 特定資産運用収入	200,461	22,890	△ 177,571	
4 雑収入	0	117,400	117,400	
5 繰越金	2,770,713	2,964,713	194,000	
合 計	382,411,974	405,331,727	22,919,753	

(2) 支出の部

(単位：円)

科 目	平成 22 年度	平成 23 年度	比較増△減額	備 考
1 事業費	341,018,772	364,635,105	23,616,333	
2 管理費	38,428,489	37,665,785	△ 762,704	
合 計	379,447,261	402,300,890	22,853,629	

(3) 平成 23 年度収支差額

収入額合計	405,331,727 円
支出額合計	402,300,890 円
次期繰越額	3,030,837 円

(4) 事業量の推移

年度	発掘面積 (㎡)	整理コンテナ数 (箱)	総事業費 (円)
平成元	28,480	2,168	156,518,712
2	192,320	—	901,759,018
3	79,169	1,994	373,471,037
4	62,871	1,237	288,440,306
5	17,414	708	411,395,390
6	22,206	572	466,667,478
7	98,707	819	1,806,576,390
8	246,852	1,016	3,073,287,360
9	102,161	1,145	3,471,304,650
10	72,204	2,655	1,746,591,400
11	53,253	2,783	1,879,475,750
12	92,473	2,403	2,231,271,799
13	92,745	2,800	1,907,957,562
14	92,714	2,800	1,772,501,177
15	73,738	2,817	1,517,108,520
16	27,328	2,803	963,345,800
17	24,596	2,800	942,687,000
18	28,150	2,800	855,382,500
19	28,711	2,940	879,415,900
20	21,365	700	467,417,000
21	22,680	480	465,879,000
22	22,504	420	379,320,800
23	28,284	140	402,160,600

Ⅲ 調査事業報告

当初計画では、5事業8遺跡、のべ面積22,605㎡の発掘調査を行うとしていたが、変更して、5事業6遺跡、のべ面積28,284㎡の発掘調査を実施した。

変更が行われた点は、着手遺跡・調査期間・受託金額などである。変更が生じた主な理由は、起業地の用地取得状況によって着手遺跡が振りかえられたこと、遺構面数や調査面積が増加したことによって調査期間が延長された遺跡があることなどによる。県東部（徳島市・小松島市・石井町・板野町）に集中して行われた。

調査の内容では、まず犬山天神山古墳（徳島市八万町）において箱形石棺などが検出された。園瀬川の河口域にはいくつもの丘陵が点在するが、その東端の丘陵の頂部付近に形成された弥生時代後期～古墳時代後期の墓域で、土器棺・石蓋土壇・箱形石棺と埋葬形態を変えながら存続する。箱形石棺では人骨が遺存するものが数基あり、4号石棺で熟年女性、7号石棺で老年女性が埋葬されていたことが判明した。遺存状況の良好ないわゆる「阿波式石棺」の出土が注目を集めたが、女性首長が埋葬されていたことや丘陵上において墓域の利用が弥生後期以降長期間に及ぶことなど、地域集団解明への重要な資料となった。

清成遺跡（名西郡石井町）は、過去の隣接地において弥生時代終末期の遺構・遺物が検出されていた。今回の調査では、縄文時代後期～室町時代の遺構が確認された。遺跡周辺においては、弥生時代の集落は後期～終末期にかけて大きく発展する様子がこれまで知られていたが、明瞭な遺構は乏しいものの中期の遺構・遺物から、集落開始期についての知見が得られた。

加茂野遺跡（名西郡石井町）は、飯尾川・鮎喰川などの堆積作用により形成された微高地上に展開する、弥生時代～鎌倉時代の遺跡である。平安時代・鎌倉時代の遺構としては、掘立柱建物とそれらを取り巻く区画溝、土壇墓が確認された。また、調査範囲の一部で土器棺墓などの弥生時代の遺構が確認されたが、住居跡などは確認されなかった。微高地が広がる南側に集落域があるものと考えられ、これまで知られていなかった沖積地での集落展開が想定される。

黒谷川郡頭遺跡（板野郡板野町）は、現在の黒谷川と旧吉野川合流点付近に形成された縄文時代晩期から平安時代にかけての複合遺跡で、特に弥生時代については集落内で水銀朱の精製を行うなど、県内を代表する集落として知られている。今回の調査地点はこれまでの調査地点よりやや北寄りで竪穴住居などが確認され、集落が北側にも大きく広がっていたことを示す。また、古代では瓦類や円面硯が出土から、南海道の駅家「郡頭駅」との関係が想定される。

その他の遺跡では、田浦遺跡（小松島市田浦町）は古代末～中世前期と見られる遺構が全域に広がる。全容は不明ながら、字名「妙蓮」に特に多く密集する遺構の性格の解明は以降の調査において大きな課題である。

（藤川）

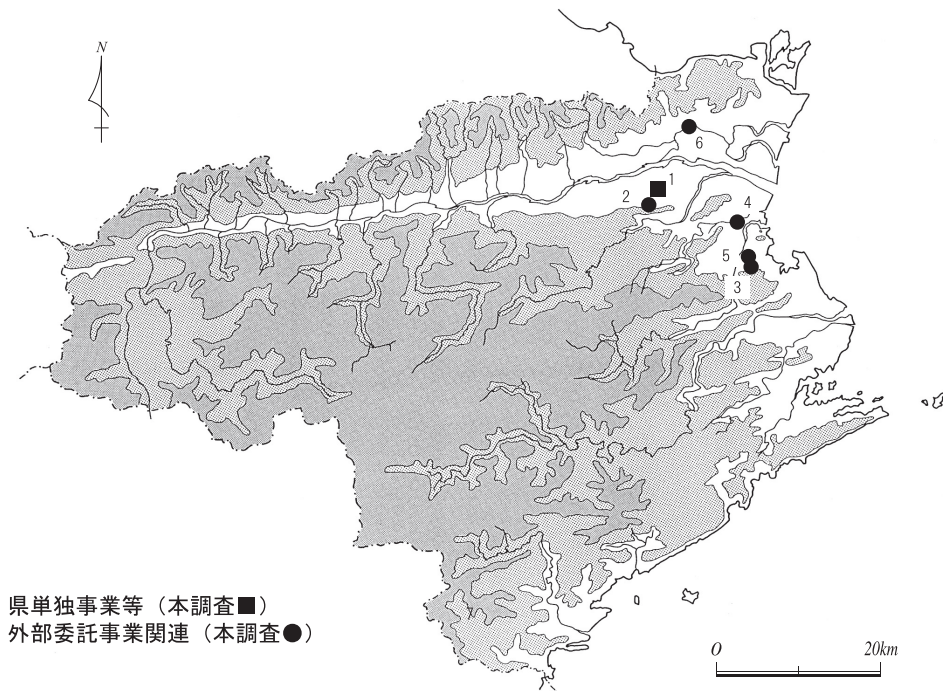
県事業等関連埋蔵文化財発掘調査

遺跡名	所在地	調査面積	調査期間	時代	遺構	遺物
1 加茂野遺跡	名西郡石井町高川原	2,800㎡ (調査面積) 6,480㎡ (のべ面積)	H23.4.1 ~ H24.1.31	◎ 弥生時代 ◎ 平安時代 ◎ 鎌倉時代	掘立柱建物・ 溝・土壇墓・ 土器棺墓	弥生土器・土師質 土器・須恵質土器・ 瓦器・白磁・青磁

国事業等関連埋蔵文化財発掘調査

遺跡名	所在地	調査面積	調査期間	時代	遺構	遺物
2 清成遺跡	名西郡石井町石井	3,650㎡ (調査面積) 8,850㎡ (のべ面積)	H23.4.1 ~ H24.1.31	◎ 弥生時代 ○ 古墳時代 ○ 奈良時代 ◎ 平安時代 ○ 鎌倉時代 ○ 室町時代	竪穴住居・掘 立柱建物・小 穴・溝・土坑・ 自然河道・不 明遺構	弥生土器・土師器・ 須恵器・瓦器・陶 器・磁器・石器・ 鉄器
3 新居見遺跡	小松島市新居見町山路 ほか	5,966㎡ (調査面積) 6,700㎡ (のべ面積)	H23.4.1 ~ H24.3.31	◎ 縄文時代 ◎ 弥生時代 ○ 古墳時代 ◎ 奈良時代 ◎ 平安時代 ◎ 鎌倉時代 ◎ 室町時代	掘立柱建物・ 小穴・溝・土坑・ 井戸	土師質土器・黒色 土器・土錘・鉄製 品
4 犬山天神山 古墳	徳島市八万町大野	800㎡ (調査面積)	H23.5.1 ~ H23.9.30	◎ 古墳時代	箱形石棺・石 蓋土壇墓	須恵器・土師器・ 直刀・装身具(勾 玉・管玉・小玉)・ 鏡
5 田浦遺跡	小松島市田浦町	2,727㎡ (調査面積)	H24.2.1 ~ H24.3.31	○ 古墳時代 ◎ 平安時代 ◎ 鎌倉時代	掘立柱建物・ 小穴・溝・土 坑	土師質土器・瓦器・ 瓦質土器・須恵質 土器・陶器・磁器・ 埴輪・石鍋
6 黒谷川郡頭 遺跡	板野郡板野町大寺	882㎡ (調査面積) 1,134㎡ (のべ面積)	H23.12.1 ~ H24.3.31	◎ 弥生時代 ◎ 奈良時代 ◎ 平安時代	竪穴住居・掘 立柱建物・小 穴・溝・土坑・ 自然河道	弥生土器・土師器・ 須恵器・瓦器・石 器・鉄器

発掘調査業務一覧



発掘調査地点位置図

加茂野遺跡

所在地 名西郡石井町高川原字加茂野130ほか

調査期間 平成23年4月1日～平成24年1月31日

担当者 氏家 佐藤 原 山下

調査概要

加茂野遺跡は、飯尾川沿いの標高L = 6 m 前後の平野部に位置する。試掘結果から飯尾川の左右両岸に遺構・遺物の拡がりが確認されている。調査地点周辺には、桜間遺跡、敷地遺跡、矢野遺跡、延命遺跡、高川原遺跡、清成遺跡など弥生～古墳時代を中心とした拠点的な集落遺跡が展開する。

遺構と遺物

発掘調査では、鎌倉時代後半頃、平安時代後期頃、弥生時代中期末～後期初頭頃の3時期の遺構・遺物を確認し、加茂野遺跡が弥生時代以降、中世に至るまで集落が継続的に営まれてきたことが明らかになった。

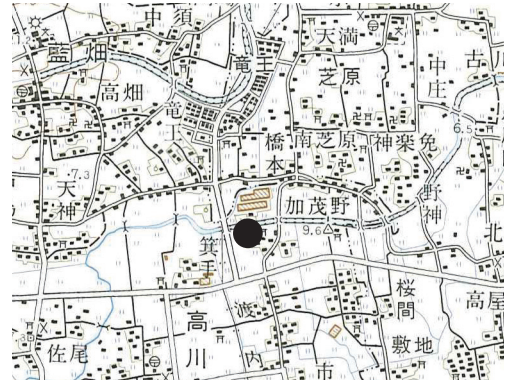
弥生時代の遺構面では、微高地の縁辺部で70cm前後の甕を合わせた6基の土器棺墓と思われる遺構群が出土した。土器棺墓群は集落の縁辺に墓域として形成されたものとみられ、集落の中心は調査地点の南側の微高地に展開しているものと推測される。

微高地上には土器棺墓の他、台付細頸壺や器台・高杯などの供献に使用されたとみられる土器が散在するなど、墓域という性格の他に、水辺の祭祀を行ったことが考えられる。

まとめ

今回の調査は、当該地域において面的に大規模調査された初例であり、集落の営みが弥生時代まで遡ることが確認され、遺跡の様相が明らかになった意義は大きい。

特に弥生時代においては、微高地縁辺上に土器棺墓群が構築され、墓域を形成していることがわかった。このことは、弥生時代の墓制や地形環境を解明する上で重要な資料を提供するとともに、周辺に分布している弥生集落との関連についても注目される。(原)



1 調査地の位置 (川島)



2 調査区全景 (北東から)



3 土器棺墓 (北から)

清成遺跡

所在地 名西郡石井町石井字石井1660
調査期間 平成23年4月1日～平成24年1月31日
担当者 氏家 山下智 島田 田川

調査概要

清成遺跡は、渡内川右岸の標高7 m前後を測る微高地上に立地する。昭和44年、徳島県立農業試験場(現農業研究所)建設に先立って徳島県教育委員会により発掘調査が実施され、弥生時代終末期の多量の土器とともに竪穴住居跡や溝などが確認された。

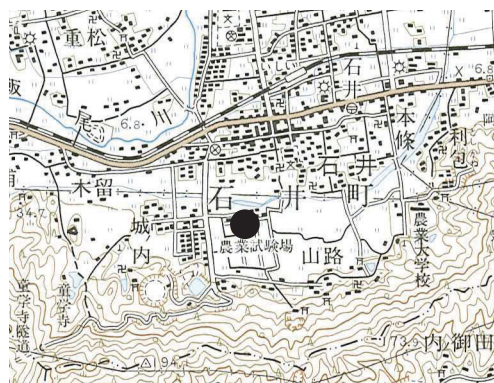
遺構と遺物

今回の発掘調査により、古墳時代～室町時代の集落である第1遺構面、弥生時代中期～終末期の集落である第2遺構面、弥生時代中期の集落が形成される前段階である第3遺構面を確認した。第1面では、竈を伴う竪穴住居跡や、瓦器椀を柱抜き取り後に埋納した掘立柱穴建物跡などがある。第2面では円形および方形を呈する竪穴住居跡が5棟確認でき、微高地を囲むような溝が確認できた。第3面では、集落を構成するような明確な遺構は確認できなかったが、溝および弥生土器が出土している。

また、トレンチ掘削ではあるが、地表下約3mのところでは縄文時代後期の土器片や石錘および炉を伴う竪穴住居跡の一部が確認できた。

まとめ

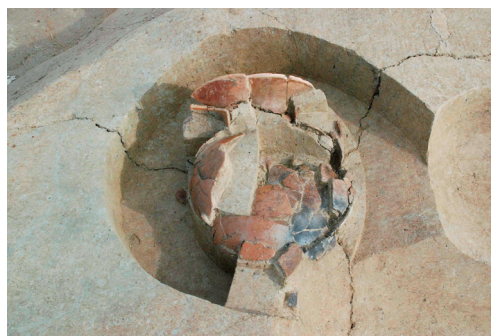
今回の発掘調査において、弥生時代終末期以外にも集落を形成する遺構面が存在していることがわかったことは、本遺跡を含めた周辺地域を把握する上で重要な成果を得た。一方、縄文時代遺構の検出は、小範囲ではあるが、これらの遺構は隣接する石井城ノ内遺跡曾我団地地点や同石井神山線地区においても確認できなかったものであり、数基の柱穴・小穴と竪穴住居跡が1軒とはいえ大きな成果であり注目される。(田川)



1 調査地の位置(川島)



2 柱穴内瓦器椀埋納状況



3 弥生土器壺出土状況



4 石錘出土状況

新居見遺跡

所在地 小松島市新居見町山路28番地ほか

調査期間 平成23年4月1日～平成24年3月31日

担当者 久保脇 栗林 大北 佐藤

調査概要

新居見遺跡は、勝浦川の南岸沖積地に位置する。西側には前山古墳や前山遺跡などが所在する。また、東側尾根には弁慶の岩屋古墳、新居見城が所在する。当地は古代では『新居郷』に比定され、10世紀後半には勝浦川河口附近を中心に成立した「新島庄」の「勝浦庄」に含まれる地域であり、鎌倉時代には『太奈保』に比定されている。

遺構と遺物

神田瀬川に面した地点からは、掘立柱建物等が確認された。建物は小型であるが、同一地点での頻繁な立て替えが想定される。遺構は室町時代が中心となる。一方、田野山地麓に位置する地点からは、古代末～中世初頭の集落が検出された。平成22年度同様に東西方向の区画溝状遺構の延長部分が検出された。この大型区画溝埋没後に、同一地点に平面が「L」字状を呈する溝状遺構が掘削されている。時期は14世紀である。また、溝の内側（南側）からは掘立柱建物が密集している。

まとめ

今回の発掘調査で山路地区は、存続時期が10世紀前半から12世紀後半に営まれた集落であることが確認された。10世紀前半代には大型区画溝が掘削され、区画内に掘立柱建物が建てられた。その後、区画溝が徐々に埋没する過程において建物数が減少しながらも12世紀後半まで存続した。柱穴内からは、複数の地鎮祭祀遺構が確認された。13～15世紀には、居住域を神田瀬川沿いや北側の微高地に移動する。今回確認された遺構は、古代に属するものは『新居郷』に、以降の掘立柱建物等は『新島庄勝浦庄』や『太奈保』に関連すると考えられる。(栗林)



1 調査地の位置（阿波富岡）



2 B3区2面完掘状況



3 A区完掘状況

犬山天神山古墳

所在地 徳島市八万町大野10-1ほか

調査期間 平成23年5月1日～平成23年9月30日

担当者 栗林 佐藤

調査概要

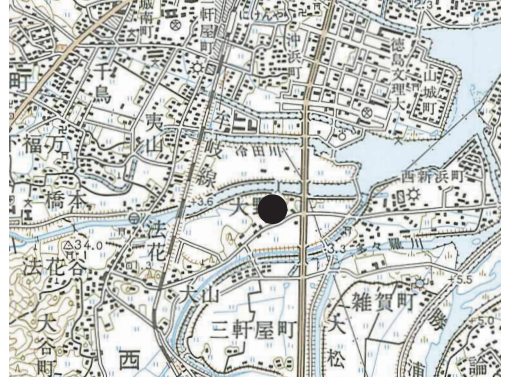
本遺跡は、徳島市八万町大野に所在し、通称「七ツ山」独立小丘陵群の東端丘陵大崎山頂標高約26m付近に立地する。丘陵麓は海拔1m以下の低地であり、古墳時代には海浜ラグーン内の島嶼もしくは、西方の山稜から半島状に伸びる微高地と丘陵であったと推定される。周辺地域には、勢見山古墳・恵解山古墳群・向寺山古墳群等が点在する。

遺構と遺物

2基の古墳と7基の埋葬施設が検出された。弥生時代後期後半～終末期にかけて土壙墓3基と土器棺墓1基が、古墳時代前期には石蓋土壙墓1基と2基の所謂「阿波式石棺」と呼ばれる結晶片岩製組合式箱形石棺墓1基が、同中期末～後期初頭には2基の箱形石棺を埋葬主体とする方墳と円墳が築造される。方墳の1号石棺からは直刀・鉄鏃・土玉が、2号石棺からは倣製振文鏡1面のほか、水晶製勾玉などが出土した。円墳の埋葬施設は、岩盤を掘削した墓壙と被覆粘土と「阿波式石棺」で構成される。石棺内には、顔面から胸にかけて水銀朱が塗布された老年女性1体が埋葬され、副葬品は伴わない。

まとめ

本遺跡からは、2人の女性被葬者と1人の男性被葬者が判明した。4号と7号石棺の女性被葬者は家長であろう。斜面部に築造された1号石棺は墳丘区画や副葬品を持たないことから、首長層よりは下位と想定される。1号墳の1号棺からは武器が、2号棺からは鏡や玉類が出土しており、両者の生前の役割が窺える。古墳時代中期には父系社会化が進行するが、犬山天神山古墳築造集団では、女性が一定の役割を果たしていたと推定され、母系要素を残す集団であった可能性が想定される。(栗林)



1 調査地の位置（徳島）



2 7号石棺全景



3 SM1 区画溝

田 浦 遺 跡

所在地 小松島市田浦町字妙蓮48ほか

調査期間 平成24年2月1日～平成24年3月31日

担当者 氏家 原 田川 島田 山下智 山下直

調査概要

本遺跡は勝浦川南岸の小松島市田浦町に位置している。遺跡は南側の子安地区と北側の妙蓮地区という二つの地区にまたがって広がっている。そのうち子安地区の西隣に近接して鉄剣や甲冑が出土したとされる子安観音古墳が所在している。勝浦川によって形成された沖積地上に立地しており、標高は約 3.5 m を測る。

遺構と遺物

今年度の調査では子安地区から 2 枚の遺構面、妙蓮地区において 1 枚の遺構面がそれぞれ確認されている。子安地区の第 1 遺構面は主に鎌倉時代を中心とした時期の遺構が検出された。土坑・柱穴・溝などが確認されている。第 2 遺構面では溝などが確認されている。

第 2 遺構面は遺構内掘削を行っていないため、所属時期については詳細が不明であるが、包含層中より円筒埴輪片などが出土している。

妙蓮地区の第 1 遺構面は鎌倉時代を中心とした時期の遺構が確認されている。遺構は北寄りに行くほど密度が高くなっており、庇付きの掘立柱建物をはじめとして、多くの建物が存在していたと考えられる。

まとめ

調査途上のため安易な判断は慎みたいが、出土遺物からみて田浦遺跡には弥生時代後期から鎌倉時代に至る複数時期の遺構面が存在すると考えられる。特に子安地区については隣接して造営された古墳との関連遺構の解明が、妙蓮地区については鎌倉時代を中心とした集落の性格の解明が来年度以降の課題として挙げられる。(氏家)



1 調査地の位置 (徳島)



2 妙蓮地区の遺構検出状況



3 子安地区の遺構完掘状況

IV 整理事業報告

平成 23 年度は、県立中央病院改築事業の 1 事業 1 遺跡の整理作業を行い、担当研究員 1 名、整理作業員延べ 960 人が従事した。

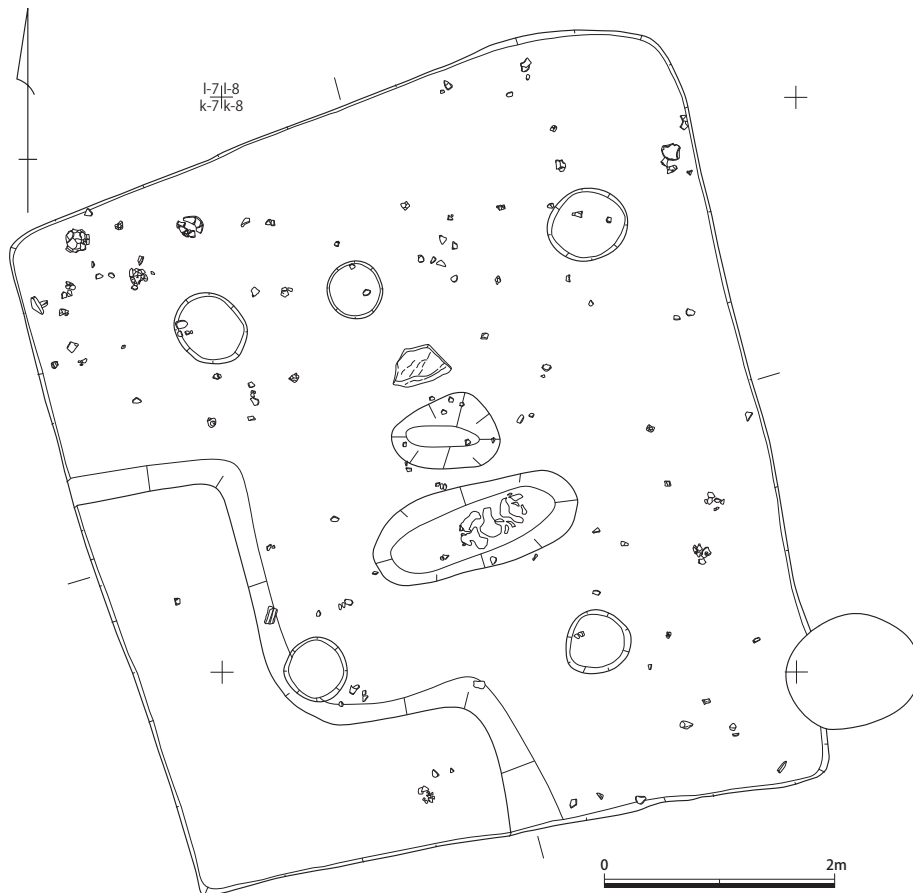
中央病院改築事業に伴う埋蔵文化財整理業務、南蔵本遺跡では、平成 18・19・20 年度出土分の遺物洗浄、注記、接合、復元を行った。以上の基礎整理作業により、実測可能な遺物を抽出・実測し、遺物観察表入力を行った。また、遺構の一部のトレースも開始した。

今回の整理では、前年度整理分で判明した縄文時代晩期の亀ヶ岡式土器の影響を受けた赤色顔料塗彩の壺形土器と同一個体と考えられる土器片が見つかった。見つかった土器片は調査年度と調査区が違っており、かつ竪穴住居跡、溝跡と異なる遺構から出土している。当時の人々の廃棄行動を考える上で興味深い。また、平成 19 年度調査の弥生時代前期の用水路跡から出土した黒漆塗りの飾り弓をはじめ、鍬、杭、矢板などの木製品が多く出土していることがあらためて確認できた。さらに、弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭の竪穴住居跡、井戸、溝、河川跡などから大量の遺物が出土していることがわかった。

次年度以降にこれらの遺物と遺構の関係を精査し、南蔵本遺跡の弥生時代から古墳時代への集落の変遷について解明していく。(近藤)

出土品整理業務一覧

事業名	遺跡名	所在地	事業者	整理期間	整理担当者	整理概要
県立中央病院改築事業関連埋蔵文化財整理業務	南蔵本遺跡	徳島市南蔵本町	徳島県病院局	2010/4/1 ~ 2011/3/31	近藤	遺物洗浄・注記・接合・復元・実測・トレース・観察表作成



平成 18 年度 (2006 年度) 調査 SB1007 平面図

V 普及事業報告

平成 23 年度の普及事業は、従来の業務を継承しながらも、指定管理者の自主事業等を中心に、更なる充実のための創意工夫を加え、埋蔵文化財の保護・普及・啓発に努めた。

1 管理運營業務

収蔵庫資料整理等業務

埋蔵文化財保護の拠点である県立埋蔵文化財総合センターにおいて、県内の埋蔵文化財の保存、活用がなお一層図られることを目的とし、収蔵庫内の資料整理、検索システムの構築、遺物保存処理等の業務を行った。

受贈図書数 1,715 冊

2 徳島県立埋蔵文化財総合センター（対象施設）の管理運營業務

県教育委員会から指定された同センターの指定管理者として、管理運営事業計画に記載した管理運営の基本方針（利用促進、サービスの向上、コストの削減、施設の適正な維持管理、地域への貢献・連携、安全管理、環境への配慮）に沿って、適切な管理運營業務を実施した。

(1) 対象施設の利用状況

- ・期間 平成 23 年 4 月 1 日（土）～平成 24 年 3 月 31 日（土）
- ・来所者数 8,067 名

(2) 自主事業の実施状況

秋の埋蔵文化財企画展「徳島県埋蔵文化財センターボランティア活動成果報告会」

- ・実施期間 平成 23 年 10 月 22 日（土）～11 月 27 日（日）
- ・来所者数 1,294 名

古代体験まつり

- ・実施期間 平成 23 年 10 月 22 日（土）・23 日（日）
- ・来所者数 511 名

四国埋蔵文化財センター巡回展「続・発掘へんろー四国の古墳時代」

- ・実施期間 平成 24 年 1 月 7 日（土）～3 月 18 日（日）
- ・来所者数 1,599 名

夏休みおもしろ古代体験

- ・実施日 平成 23 年 8 月 1 日（月）・8 月 15 日（月）「ガラス玉をつくろう」
- 8 月 8 日（月）・8 月 29 日（月）「銅鏡をつくろう」
- 8 月 9 日（火）「徳島県立埋蔵文化財総合センター見学会」
- 8 月 22 日（月）「木簡をつくろう」
- ・参加者数 168 名



埴輪焼成体験

毎日古代体験

実習室や体験テントを利用して、開所日にいつでもできる古代体験学習として、勾玉づくり・火おこし・縄文ポシエットづくりを行った。

- ・実施期間 平成23年4月1日(土)～平成24年3月31日(土)
- ・参加者数 1,362名

アワコウコ学サポーター養成講座応用課程

- ・応用課程のコース
 - 古代ものづくりプロジェクト
 - 万葉の草花を楽しむプロジェクト
 - 史跡ウォーキング・案内ガイド育成プロジェクト
- ・実施回数 実習・自習会あわせて46回
- ・参加者数 のべ228名以上



古代ものづくり
プロジェクトの活動



万葉の草花を楽しむ
プロジェクトの活動



史跡ウォーキング・案内ガイド
育成プロジェクトの活動

(3) 徳島県立埋蔵文化財総合センター公式ホームページの管理

- ・カウント数 19,972

(4) 団体来館対応

No	期日	利用団体	人数	見学・体験活動内容
1	4/8	国際交流センター(金関先生同行ツアー)	42	展示案内
2	4/19	板野郡板野町新宮グループ	5	遺跡巡り
3	5/6	阿南市桑野小学校5年生	31	展示・火おこし・勾玉
4	5/6	徳島市内町小学校6年生	32	展示・火おこし・勾玉
5	5/11	板野町要約筆記グループあせび会	6	組紐づくり
6	5/17	三好市井内幼小学校幼～5年生	30	展示案内
7	5/20	小松島市櫛淵樟寿会	21	展示案内
8	5/22	徳島大学生物A2	11	勾玉・縄文ポシエット
9	5/22	徳島市阿波国古代史研究会バスツアー	57	展示案内
10	5/25	徳島市論田小学校4年生	56	展示案内
11	5/27	美馬市宮内小学校1～5年生	21	展示案内
12	6/12	板野町板野東小学校5年親子会	56	勾玉づくり
13	6/12	大阪府高齢者大学OB大野会	20	展示案内
14	6/19	上板町高志小学校5年親子会	43	勾玉づくり
15	6/22	板野郡シルバー大学OBふたば会	20	勾玉づくり
16	6/29	京都大学大学院	13	展示案内
17	6/29	板野郡シルバー大学上板校27期会	8	勾玉づくり
18	7/7	鳴門市テクノスクール鳴門造園科	15	展示案内
19	7/15	板野支援学校高等部	7	勾玉づくり
20	7/19	東京大学古代史ゼミ	26	展示案内
21	7/30	名西郡高原小学校関子子供会	25	勾玉づくり
22	8/3	板野郡藍住南小学校サマーセミナー	22	展示・勾玉・火おこし

No	期日	利 用 団 体	人数	見学・体験活動内容
23	8/6	板野郡支援ボランティアグループすだち会	13	勾玉づくり
24	8/17	徳島北高校	6	展示・施設案内
25	9/13	板野町やまびこ会	7	勾玉づくり
26	9/29	大阪府茨木市ホキレ 27 期会	20	展示案内
27	10/1	板野町すだち会	15	勾玉づくり
28	10/4	板野町あせび会	10	勾玉づくり
29	10/7	小松島市ディサービスさくら	20	勾玉づくり
30	10/21	北井上小学校 6 年生	37	勾玉づくり
31	10/27	朝日旅行（西谷先生同行ツアー）	13	展示案内
32	10/28	高松市多肥小学校 6 年生	168	展示案内
33	11/4	藍住町教育委員会	10	展示案内
34	11/16	千松小学校 3 年生	200	展示案内
35	12/9	大俣小学校 6 年生	18	勾玉づくり
36	1/14	徳島大学ユースホステル部	16	勾玉づくり
37	1/15	鳴門市ボーイスカウト第 9 団	26	勾玉づくり・組紐づくり
38	1/27	小松島市ディサービスさくら	10	勾玉づくり
39	2/12	石井小学校 PTA 文化部親子会	38	勾玉づくり
40	2/18	知事と一緒にふれあいバス	47	展示案内・古代米脱穀
41	2/22	板野町古事記研究会	18	展示案内
42	2/23	辻小学校 6 年生	16	展示案内・組紐づくり
43	2/24	高川原小学校 6 年生	55	展示案内・勾玉づくり
44	3/6	吉野川市川島松寿会	41	展示案内
45	3/16	大阪府古代史跡探訪会	25	展示案内

3 普及事業の共催

徳島県教育委員会文化財課が実施する普及事業のうち、次の事業について、公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターは専門的立場から事業について提案を行い、自主事業として共催した。

(1) アワコウコ楽総合講座

ア 考古学講座

・講座内容

第 1 回 平成 23 年 6 月 11 日（土）「徳島の考古学」

講演 1 「徳島の考古学」藤川智之（徳島県埋蔵文化財センター事業課長）

講演 2 「大代古墳と地域づくり」矢金満氏（鳴門市大津中央公民館）

・受講者数 64 名

第 2 回 平成 23 年 9 月 10 日（土）「土の中からくらしが見える」

講演 「土の中からくらしが見える」氏家敏之（徳島県埋蔵文化財センター）

講演 「県民と行う讃岐国府跡の調査」宮崎哲治氏（香川県埋蔵文化財センター文化財専門員）

・受講者数 68 名

第 3 回 平成 23 年 10 月 8 日（土）「古代人の衣・食」

講演 「古代人と植物」近藤 玲（徳島県埋蔵文化財センター専門研究員）

講演 「考古博物館の考古楽者養成講座」村上賢治氏
（兵庫県立考古博物館 事業部学習支援課課長）

・受講者数 59 名

第 4 回 平成 24 年 2 月 5 日（日）「ミニシンポジウム 海からみた四国の古墳時代」

- 報告 1 「讃岐産刳拔式石棺の成立とその背景」 蔵本晋司氏
(香川県埋蔵文化財センター文化財専門員)
- 報告 2 「海からみた古墳時代の瀬戸内と伊予」 柴田昌兎氏
(財団法人愛媛県埋蔵文化財調査センター担当係長)
- 報告 3 「紀伊水道と吉野川・河川を通じた交流」 栗林誠治
(徳島県埋蔵文化財センター専門研究員)
- 報告 4 「南四国地域の諸古墳と横穴式石室の展開」 山崎孝盛氏
(財団法人高知県文化財団埋蔵文化財センター調査員)

パネルディスカッション (コーディネーター 栗林誠治)

・受講者数 93 名

第 5 回 平成 24 年 2 月 26 日 (日) 「徳島の古墳時代」

基調講演 「徳島における古墳時代前半期の社会」 西本和哉氏
(徳島県教育委員会教育文化政策課 主事)

調査成果報告 1

「マンジョ塚 2 号墳の調査成果と周辺の古墳群について」 大川沙織氏
(徳島市教育委員会社会教育課 主事)

調査成果報告 2

「天河別神社古墳群の発掘調査」 下田智隆氏
(鳴門市教育委員会生涯学習人権課 文化財担当)

調査成果報告 3

「宮谷古墳・奥谷 1 号墳の発掘調査概要」 三宅良明氏
(徳島市教育委員会社会教育課 係長)

総括 菅原康夫 (徳島県埋蔵文化財センター事務局長)

・受講者数 81 名

(2) 「阿波の古 (いにしえ) 再発見 埋蔵文化財総合活用事業」 の実施

埋蔵文化財速報展 「発掘とくしま」

平成 22 年度に発掘した遺跡からの主要な出土品を展示し、その調査成果をいち早く県民に紹介するとともに、各種関連行事も実施し、郷土の歴史に対する理解と認識、文化財保護意識の向上に努めた。

- ・実施期間 平成 23 年 6 月 21 日 (火) ～ 7 月 24 日 (日)
- ・実施場所 徳島県立埋蔵文化財総合センター
- ・速報展示 西州津遺跡・深瀬遺跡・新居見遺跡・大松遺跡・矢野遺跡・奥角遺跡
- ・テーマ展示 「発掘成果からみた縄文時代の徳島」
矢野遺跡・田井遺跡・稲持遺跡・荒川遺跡
- ・関連行事

調査成果報告会 (平成 23 年 7 月 3 日 (日))

成果報告 大松遺跡・西州津遺跡・深瀬遺跡・新居見遺跡

参加者 77 名

講演会

講演 1 「発掘成果からみた縄文時代の徳島」久保脇美朗（徳島県埋蔵文化財センター研究主査）

講演 2 「中・四国の縄文時代」遠部慎氏（徳島大学埋蔵文化財調査室助教）

講演 3 「吉野川流域の縄文集落と景観」湯浅利彦氏（徳島県教育委員会教育文化政策課長）

参加者 77名

おもしろ古代体験「縄文時代の土偶や土面をつくろう」（平成23年6月26日（日））

参加者 55名

遺跡体験見学会

実施期間 平成23年7月26日（火）～29日（金）

実施場所 清成遺跡（名西郡石井町）

参加者 61名

4 その他の普及事業

(1) 埋文 WEB の管理運営

現地説明会の案内・各種イベント案内・発掘作業員などの募集案内や公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの活動内容全般を掲載した。

・アクセス数 23,384

(2) 埋蔵文化財センター年報の刊行

・埋蔵文化財センター年報 Vol.22

500部

(3) 各種研修の受け入れ

① 教職員初任者研修会

県教職員研修課主催の初任者研修の一環として、社会・自然体験（郷土を知る）プログラムを行った。

・期日 平成23年8月19日（金）

・研修内容 講義「埋蔵文化財について」「埋蔵文化財センターの業務」

整理業務・収蔵庫の施設見学，常設展・企画展見学

講義「埋蔵文化財センターの活用方法」

現地研修「周辺の史跡・遺跡見学」

・参加人数 13名

② 職場体験学習

中学生（板野中学校）の進路指導の一環として実習体験を行った。

・期日 平成23年11月17日（木）・18日（金）

・研修内容 整理・普及業務体験（板野郡板野町 埋蔵文化財総合センター）

・参加人数 3名

③ 中学生インターンシップ

中学生（城ノ内中学校高校）の進路指導の一環として実習体験を行った。

・期日 平成23年8月10日（水）・11日（木）

・研修内容 出土品整理・普及業務体験（板野郡板野町 埋蔵文化財総合センター）

- ・参加人数 6名

④高校生インターンシップ

高校生（板野高校）の進路指導の一環として実習体験を行った。

- ・期日 平成24年1月24日（火）・25日（水）
- ・研修内容 出土品整理・普及業務体験（板野郡板野町 埋蔵文化財総合センター）
- ・参加人数 4名

(4) 職員の対外活動

No.	期日	内容	参加者
1	4/1～3/31	阿波市文化財保護審議会委員の委嘱	大北
2	4/1～3/31	藍住町文化財保護審議会委員の委嘱	氏家
3	4/1～3/31	文化庁埋蔵文化財発掘調査体制等の整備充実に関する調査研究委員会に関する協力者の委嘱	菅原
4	5/3	阿南市加茂谷鯉祭り	島田
5	5/13	郡里廃寺跡整備検討委員会（美馬市）	菅原
6	6/2	阿南市教育会 OB 木曜会 研修会「遺跡発掘 いにしえ人との対話」講師	島田
7	6/16	阿南市成人大学 講師	島田
8	7/14	小松島のふるさと講座 講師	栗林
9	7/23	徳島市立考古資料館 考古学入門講座講師	菅原
10	8/12	第19回阿波国分尼寺跡整備策定委員会	菅原
11	8/27	徳島市立考古資料館 考古学入門講座講師	近藤
12	9/11	海陽町立博物館 「ふるさと発見講座」講師	藤川
13	9/24	徳島市立考古資料館 考古学入門講座講師	栗林
14	9/26～28	滋賀県立大学人間文化学部講師（集中講義）	菅原
15	10/15	海陽町立博物館 「ふるさと発見講座」講師	栗林
16	10/17	郡里廃寺跡整備検討委員会（美馬市）	菅原
17	3/16	第5回木簡など出土文字に関するワークショップ （奈良市・独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所）	藤川
18	3/18	徳島市立考古資料館 「出土文字は語る」講師	藤川
19	3/20	五斗長垣内遺跡調査研究プロジェクトシンポジウム （兵庫県北淡町・兵庫県立考古博物館）	菅原

(5) 発掘現場における普及事業

平成23年度の発掘調査中の遺跡等の調査成果を広く県民に公開した。3件（参加者540名）

No.	日付	遺跡名	所在地	参加者数	事業	主な内容
1	6/25	犬山天神山古墳	徳島市八万町	120	徳島南環状道路	「阿波式石棺」の出土
2	9/10	犬山天神山古墳	徳島市八万町	270	徳島南環状道路	「阿波式石棺」内の良好な状態の埋葬人骨
3	12/10	清成遺跡	名西郡石井町	150	県立農林水産総合支援センター	弥生時代の集落

(6) 考古資料の活用

資料の借用・掲載・転載・撮影・実見等

49件(対象資料数 2,494点)

No.	申請様式	貸出資料等	員数	貸出先(申請者)	利用目的
1	その他(パネル転載)	大谷尻遺跡遺構全景写真 他	5	徳島市立考古資料館	施設整備事業「歴史年表作成」に挿入資料として掲載(転載)
2	貸出・出版物掲載	川西遺跡出土双六の駒 他	30	文化庁	「発掘された日本列島展2011」に列品するため
3	実見・その他(分析)	黒谷川郡頭遺跡出土勾玉 他	15	熊本大学助教大坪志子	石製装身具の石材からみた動態研究のため
4	出版掲載	観音寺遺跡出土木簡写真	1	徳島新聞社	朝刊こども面「とくちゃんと学ぶ」に挿入資料として掲載(2次使用)
5	実見・撮影	矢野遺跡銅鐸 他	97	愛媛県歴史文化資料館	特別展に伴う借用に向けての事前調査のため
6	実見・撮影	宮ノ本遺跡出土瓦器椀 他	234	大川沙織	考古学研究会岡山例会発表資料作成のための資料調査
7	出版掲載	大松遺跡1号墓写真 他	3	(株)山川出版社	『中世都市研究16 都市のかたち―権力と領域―』(中世都市研究会編、2011年9月刊行予定)に掲載
8	貸出・その他	安宅2丁目地点遺跡遺構写真	7	徳島市城東中学校教諭秋山美穂	授業の教材として、教室背面掲示板・黒板に掲示
9	閲覧・撮影	薬師遺跡出土土器等焼成遺構遺物	517	古賀信幸	焼成遺構からみた中世土器の生産と流通に関する研究の資料調査
10	貸出・出版物掲載	矢野遺跡出土土製仮面写真	1	(公財)徳島県埋蔵文化財センター	平成23年度版イベントカレンダー(印刷物)に掲載
11	出版物掲載	川西遺跡遺構写真	4	川西英器	『広報かみはちまん』(上八万まちづくり協議会、7月中旬発行)に掲載
12	閲覧	観音寺遺跡出土木簡	12	東京大学大学院教授佐藤信含25名	古代阿波国関係出土文字資料の調査
13	出版物掲載	矢野銅鐸出土状況写真	1	(株)同成社	『日本の遺跡シリーズ44巻 荒神谷遺跡』(足立克己著)に本文挿入資料として掲載
14	出版物掲載	萩原1号墓積石木槨底部 図他	3	(株)学生社	『邪馬台国時代の阿波・讃岐・播磨と大和』(編集:香芝市二上山博物館、著者石野博信、菅原康夫 他)に本文・カバーに掲載
15	出版物掲載	観音寺遺跡柵出土状況写真	1	海陽町立博物館	ふるさと発見講座(第4回・第5回)の広報のための「チラシ」に掲載
16	出版物等掲載	埋蔵文化財総合センター外観写真	1	(株)朝日旅行	「西谷正先生現地同行解説邪馬台国シリーズ番外編『播磨・淡路と阿波の国の遺跡を訪ねる3日間』の募集パンフレット等に掲載
17	出版物掲載	深瀬遺跡 遺構写真	6	島田豊彰	『季刊考古学』第117号の「深瀬遺跡の発掘速報」に掲載
18	その他(展示)	新居見遺跡出土土偶	1	(公財)徳島県埋蔵文化財センター	エントランス展示「アワコウコ楽の逸品」に使用(07.26～08.31:37日間)
19	貸出・掲載	矢野遺跡銅鐸 他遺物46点写真18点	64	愛媛県歴史文化博物館	特別展「邪馬台国時代の伊予・四国」展示及び図録・広報(09.29～12.07:70日間)
20	出版物掲載	川西遺跡遺構写真 他	12	日本考古学協会	『列島展図録』掲載内容を英文コンテンツ「深瀬遺跡の発掘速報」に掲載
21	閲覧	黒谷川郡頭遺跡出土土器 他	269	栗林誠治	徳島県内出土古式土師器の研究
22	貸出	名東遺跡出土石杵 他	75	徳島市考古資料館	特別展「弥生の彩り・暮らし」展示及びパネル・図録(09.30～12.06:69日間)
23	その他(展示)	南庄遺跡出土朱付着石杵 他	3	(公財)徳島県埋蔵文化財センター	エントランス展示「アワコウコ楽の逸品」に使用(09.06～10.02:27日間)
24	閲覧	大代古墳出土埴輪 他	269	西本和哉	個人研究に伴う資料調査
25	貸出	川西遺跡出土皿 他	56	徳島市上八万中学校	特別展「川西遺跡の出土遺物の校内展示」展示及びパネル(10.17～10.31:15日間)
26	閲覧	西山谷2号墳出土鉄器類	23	岡山大博士課程樋口碧	個人研究(鉄鏃)に伴う資料調査
27	閲覧	西山谷2号墳出土銅鏡 他	131	島根大准教授岩本崇	個人研究(鏡)に伴う資料調査
28	閲覧	黒谷川郡頭遺跡出土石杵 他	68	島根大修士課程鈴木圭	個人研究(朱)に伴う資料調査
29	出版物掲載	西州津遺跡現地説明会資料 他	12	(株)ジャパン通信	『文化財発掘出土情報』2012.01号(各地の動向)に掲載
30	貸出	黒谷川郡頭遺跡出土縄文晩期壺 他	13	鳴門教育大学教授木原克司	大学講義「考古学」の教材として活用

31	出版物掲載	観音寺遺跡出土論語木簡写真	4	奈良県立教育研究所	中学国語教材「古代の漢字資料」に資料として掲載
32	その他（展示）	観音寺・敷地遺跡出土墨書・刻書土器	6	(公財) 徳島県埋蔵文化財センター	エントランス展示「アワコウコ楽の逸品」に使用
33	その他（展示）	庄（庄・蔵本）遺跡出土墨書土器他	25	徳島市立考古資料館	企画展「文字資料は語る」に使用
34	出版物掲載	庄（庄・蔵本）遺跡出土墨書土器写真他	56	徳島市立考古資料館	企画展「文字資料は語る」の展示及びパネル・図録等に使用
35	出版物掲載	西山谷2号墳石室全景写真他	2	(株) アワード	徳島市委託「観光パンフレット」に掲載
36	出版物掲載	古城遺跡地震跡写真他	3	読賣新聞	読賣新聞「地震考古学 注目集める」(2012.01.29)に掲載
37	閲覧	庄遺跡出土木製品	166	元興寺文化財研究所	保存処理した木製品の経年変化と保存環境の確認
38	出版物掲載	犬山天神山古墳現地説明会資料他	12	(株) ジャパン通信	『文化財発掘出土情報』2012.03号(各地の動向)に掲載
39	出版物掲載	矢野銅鐸出土状況写真	1	(株) 帝国書院	『徳島県歴史テストブック上巻』に掲載
40	出版物掲載	観音寺遺跡77号木簡写真	2	(株) G. B.	徳間書店ムック『おとなの論語』に掲載
41	複製・撮影・掲載	国府町周辺の空中写真他	30	(公財) 徳島県埋蔵文化財センター	巡回展「続・発掘へんろ」のパネル等、展示・広報に使用
42	貸出・その他（展示）	阿波国分尼寺出土軒丸瓦他	27	(公財) 徳島県埋蔵文化財センター	巡回展「続・発掘へんろ」(会場：松山市考古資料館)に展示(04.24～06.26：46日間)
43	貸出・その他（展示）	阿波国分尼寺出土軒丸瓦他	27	(公財) 徳島県埋蔵文化財センター	巡回展「続・発掘へんろ」(会場：高知県立埋蔵文化財センター)に展示(06.27～07.31：35日間)
44	貸出・その他（展示）	阿波国分尼寺出土軒丸瓦他	27	(公財) 徳島県埋蔵文化財センター	巡回展「続・発掘へんろ」(会場：高知県立埋蔵文化財センター)に展示(08.01～09.10：42日間)
45	貸出・その他（展示）	阿波国分尼寺出土軒丸瓦他	27	(公財) 徳島県埋蔵文化財センター	巡回展「続・発掘へんろ」(会場：香川県埋蔵文化財センター)に展示(09.12～10.30：50日間)
46	貸出・その他（展示）	阿波国分尼寺出土軒丸瓦他	27	(公財) 徳島県埋蔵文化財センター	巡回展「続・発掘へんろ」(会場：香川県埋蔵文化財センター)に展示(11.01～12.19：49日間)
47	その他（展示）	阿波国分尼寺出土軒丸瓦他	27	(公財) 徳島県埋蔵文化財センター	巡回展「続・発掘へんろ」(会場：徳島県立埋蔵文化財総合センター)に展示(01.07～03.17：70日間)
48	出版物掲載	観音寺遺跡77号木簡実測図	1	(株) 中央公論新社	中公新書『飛鳥の木簡』に掲載
49	その他（展示）	犬山天神山古墳出土振文鏡他	80	(公財) 徳島県埋蔵文化財センター	「阿波式石棺の世界—徳島市犬山天神山古墳展—」で展示

(7) 教材等の貸出

移動教材セット等の貸出状況

8回(参加者 927名)

No.	貸出日	返却日	利用団体	利用人数	教材名
1	4/18	5/13	美馬市教育委員会	153名	移動教材セット
2	5/13	5/24	鳴教大附属中学校1年生	158名	移動教材セット
3	5/10	5/11	阿南市長生小学校6年生	32名	粘土セット32点
4	5/10	5/16	徳島文理中学校1年生	175名	移動教材セット
5	5/18	5/23	阿南市横見小学校全校児童	116名	移動教材セット
6	6/6	11/1	徳島市城東中学校1年生	267名	安宅2丁目遺跡パネル
7	10/31	11/1	小松島市坂野小学校5年生	22名	粘土セット22点
8	12/7	12/14	鳴門教育大学(博物館学)	4名	勾玉セット4点

(8) 出張授業・体験等の実施

授業・火おこし・勾玉づくり

29回(参加者 943名)

No.	期日	利用団体	人数	内容
1	4/15 午前	徳島市論田小学校6年生	73名	移動教材
2	4/26 午前	吉野川市川田中小学校6年生	19名	移動教材・火おこしデモ
3	5/6 午後	徳島市八万中学校2年生	75名	川西遺跡の紹介
4	5/10 午前	阿南市長生小学校6年生	32名	移動教材・練土・施文具
5	5/11 午前	阿南市長生小学校6年生	32名	縄文土器づくり(成形)
6	5/12 午前	吉野川市山瀬小学校6年生	35名	移動教材・勾玉づくり
7	5/17 午前	吉野川市川島小学校6年生	46名	移動教材・勾玉づくり
8	5/18 午前	名西郡石井小学校6年生	103名	移動教材・DVD
9	5/24 午前	吉野川市知恵島小学校6年生	23名	移動教材・勾玉づくり
10	6/14 午前	吉野川市学島小学校6年生	17名	移動教材・勾玉づくり
11	7/3 午前	名西郡石井町フレッセ石井	12名	移動教材・勾玉づくり
12	7/9 午後	名西郡石井中PTA文化部	22名	移動教材・勾玉づくり
13	7/24 午後	石井町高川原小高南親子会	37名	勾玉づくり・火おこしデモ
14	8/19 午前	徳島市加茂公民館4～6年生	76名	移動教材・勾玉づくり
15	8/27 午後	板野郡上板町歴史民俗資料館	11名	移動教材・勾玉づくり
16	8/28 午後	阿波市市場図書館	6名	移動教材・勾玉づくり
17	10/31 午前	小松島市坂野小学校5年生	22名	移動教材・練土・施文具
18	11/1 午前	小松島市坂野小学校5年生	22名	縄文土器づくり(成形)
19	11/12 午前	徳島市上八万児童館4～6年生	36名	移動教材・勾玉づくり
20	11/16 午後	吉野川市西麻植小学校5年生	64名	移動教材・勾玉づくり
21	12/1 午後	鳴門教育大学(考古学)	28名	縄文弥生の県内遺跡と土器編年
22	1/17 午前	阿波市林小学校5年生	44名	移動教材・古代米脱穀体験
23	1/22 午前	阿南市伝統文化子ども教室	16名	移動教材・勾玉づくり
24	1/26 午後	鳴門教育大学(考古学)	19名	移動教材・勾玉づくり
25	1/29 午前	鳴門市大代古墳等歴史的文化遺産保存会	18名	円筒埴輪づくり(練土・成形)
26	2/2 午後	鳴門教育大学(考古学)	19名	移動教材・勾玉づくり
27	3/10 終日	鳴門市大代古墳等歴史的文化遺産保存会	18名	円筒埴輪づくり(窯づくり・焼成)
28	3/11 午前	鳴門市大代古墳等歴史的文化遺産保存会	18名	円筒埴輪づくり(焼き上がり)

徳島県埋蔵文化財センター年報 Vol. 23

－平成 23 (2011) 年度－

平成 25 年 1 月 18 日

編集・発行 公益財団法人 徳島県埋蔵文化財センター

〒 779-0108 徳島県板野郡板野町犬伏字平山 86 番 2

TEL (088)672-4545 FAX (088)672-4550

HP <http://www.tokushima-maibun.net>

E-mail awapac@tokushima-maibun.net

印刷 (株)教育出版センター